

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社神戸製鋼所 溶接事業部門 生産センター西条工場

(2) 事業所の所在地

広島県東広島市西条町御菌宇6400-1

(3) 業種

2579 その他の金属線製品製造業

(4) 事業所位置図 別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25（2013）年度を基準年度とし、令和7（2025）年度から令和9（2027）年度までの3年間とする。

3 計画の基本的な方向

- ・法令及びその他要求事項を遵守し、環境汚染の防止を最優先することで社会の信頼に応えます。
- ・あらゆる事業活動においてライフサイクルの視点で、限りある資源の持続的な利用に取り組み、CO2 削減を進め、カーボンニュートラルの実現に貢献します。
- ・技術的かつ経済的に実行可能な環境目標を定め、PDCA サイクルを実践して達成します。
- ・ISO14001 の浸透を図り、環境意識を向上させて、環境マネジメントシステムの継続的改善、環境パフォーマンスの向上に努めます。
- ・設備事故の予防に努めリスク低減を図るとともに、気候変動から増加する自然災害への備え、強化を継続し、工場として人命の安全確保を最優先とした、防災力向上に努めます。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成25（2013）年度	令和6（2024）年度
二酸化炭素	5,270	3,257

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成（ ）年度	令和（ ）年度
二酸化炭素		

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成25（2013）年度	令和6（2024）年度
メタン	2.40	4.65
一酸化二窒素	9.03	12.15
その他 温室効果 ガス （ HFC PFC SF ₆ NF ₃ ）		

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂）、削減率（%）

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 25 (2013) 年度)	削減目標		目標年度 (令和9 (2027) 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂	5,270	14.0	738	4,532
非エネルギー起源CO ₂				0
メタン	2.40	14.2	0.34	2.06
一酸化二窒素	9.03	14.0	1.26	7.77
その他 温室効果ガス				0
温室効果ガス 実排出量総計	5,281	14.0	739	4,542
温室効果ガス みなし排出量		—		4,542
目標設定の考え方	基準年度から毎年1%削減			

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

単位：排出量(t-CO₂)、原単位量(kg等)、削減率(%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 () 年度)			原単位 削減目標 削減率 (d)	目標年度 (令和 () 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)		排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂							
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
その他 温室効果ガス							
総排出量							
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)	—	—		0.0	—	—	
目標設定の考え方							

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置及び目標並びに具体的な取組

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	燃料使用量の削減	灯油の使用量を1%削減	・乾燥炉の炉体補修と保温効果 ・乾燥炉の風量適正化 ・高効率設備の拡充
2	電気使用量の削減	電気の使用量を1%削減	・熱風ファン動力の削減 ・設備の待機電力の削減 ・冷暖房温度の適正管理 ・蛍光灯のLED化 ・設備の待機電力の削減 ・老朽化更新タイミングに合わせた省エネ型設備への更新
3			
4			

※ 「原単位」で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること。

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合 計 量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	内部環境監査		毎年工場内環境監査を実施し、環境改善活動に取り組んでいる。
2	グリーン購入	グリーン商品の優先購入	コピー用紙、事務用品等でグリーン商品化されている商品を優先的に購入している。
3	工場周辺道路の清掃		定期的に工場周辺道路の除草及び、清掃を実施している。

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法

(1) 推進・点検体制

- ・ 事業所エネルギー管理統括責任者（工場長）
↓
- ・ 事業所エネルギー管理副統括責任者（製造室 製造室長）
・ エネルギー管理員（事務局：製造スタッフより選任）
↓
- ・ QAT
- ・ 推進者（総務室） → 協力会社
チーム長又はその任命者：職制、自主管理活動
- ・ 推進者（製造室） → 係長並びにチーム長又はその任命者：職制、自主管理活動

(2) 実施状況の点検・評価

工場挙げての「省エネキャンペーン（提案募集）」や「省エネ・エアリー漏れパトロール」等により、省エネテーマの抽出や運用の見直しを計画化し、改善実施の評価やフォローを行い、継続的な向上を図っている。また、毎年度の取組状況、点検・評価内容については、温室効果ガス削減計画書とともに公表する。

(3) 計画書等の公表

温室効果ガス削減計画内容および進捗状況を事業所に備え付けて閲覧する。

別紙

1-(4) 事業所位置図

